

# カトリック仙台司教区・ **カリタスジャパン** 東日本大震災救援・復興活動ニュースレター

発行人：平賀徹夫 編集：小松史朗  
〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-2-12  
カトリック仙台司教区事務局  
Tel.022-222-7371 Fax022-222-7378  
1) 義援金振替口座：02260-9-2305  
名義：カトリック仙台司教区本部事務局  
2) 支援金振替口座：00170-5-95979  
名義：カリタスジャパン

今回は、1月14日で開所2周年を迎えたカリタス大船渡ベースの開所2周年イベントと、カリタス米川ベースの仲介を得てカリタスジャパンが支援した南三陸町の入谷と戸倉の2カ所のデイサービスセンターのうち、完成が心待ちにされていた戸倉デイサービスセンターの開所式が1月24日に行われましたので、その様子をお伝えします。(入谷デイサービスセンターは、2013年3月24日開所 ※ニュースレター第38号掲載)  
また、震災から丸3年を迎えるにあたりカレンダーを作成いたしましたので、ご紹介させていただきます。

## 大船渡ベース 2周年

カリタス大船渡ベース 深堀 崇

2012年1月14日に大船渡ベースは開所しました。大船渡の地で長く被災された方に寄り添っていくために、自宅再建が可能な地である現在の土地にベースを建設しました。この地域の人々のコミュニケーションスペースになり、ボランティアが安心して活動へ向かうことのできる場所として建ち上げました。

ベースが開所してから2年、はじめは近隣の方との関係作りから始まりました。毎朝の挨拶など積極的に関わることにより、少しずつベースのことを理解していただけたように思います。はじめは、何か怪しいものが来たのではないかと疑いの目を向けられることもありましたが、2年経つとそれもなくなってきました。ベースを選挙の投票所として使用していただいたことが、疑いの目がなくなった大きなきっかけだったと思います。

ベースの開所2周年を記念して、2014年1月13日に地域の方をお招きして、お祝いをしました。3つのプログラムに分けて地域の方々に楽しんでいただけるよう準備しました。

1つ目のプログラムは、教会での開所2周年をお祝いしてのごミサです。大阪教区から松浦司教様をはじめ、松村神父様、春名神父様の3名の神父様方に来ていただき、教会の方と共にごミサに参加することが出来ました。



2つ目のプログラムは、2年間の活動写真から37枚を選び、ベース内に飾り、今までの活動紹介を兼ねた写真展示会と軽食を準備して茶話会を行いました。地域全体に声をかけてベースに来ていただきました。仮設の集会所でのお茶会では出会えない人たちも来られて、多くの人にベースの活動を知っていただける機会となりました。「こんなこともしてたんだ～」とベースの別の面での活動を知っていただきました。また、瓦礫撤去や泥出しの写真を見て3.11直後のことを話して下さる方もいらっしゃいました。



3つ目のプログラムは、活動を通して連携している団体やお世話になっている個人をベースにお招きして、鍋パーティーを行いました。地区の代表者や仮設商店街の人など今までお世話になっている方々に来ていただき、感謝の気持ちをお伝えすることが出来ました。ベースと個々でつながっている方々が、会食を通して横のつながりも広がっていただくことが出来たと思います。

ベースが今後、3年・4年と続いていく中で、地域とのかかわりや地域にどれだけ受け入れられるかは大切なことだと思います。様々な活動を通して、より大きな信頼関係を築いていくことができればと思います。



## 全ベース会議開催

1月22日(水)、カトリック元寺小路教会にて13回目となる全ベース会議が行われました。各ベースの現状と今後の活動について報告が行われ、その後「お茶っこのあり方、新たな活動の可能性について」という議題について意見交換を行いました。それぞれのベースで日々忙しく活動しているスタッフにとって、この会議は、有意義な情報交換の場であり、スタッフ同士の良い交流の場にもなっています。

今後も、2ヶ月に1度、継続して開催していく予定です。



全ベース会議の様子

# 戸倉デイサービスセンター落成式

カリタス米川ベース 千葉 道生

南三陸町戸倉地区の金華山国定公園周辺の高台に1月24日、デイサービスセンターが落成しました！ 内陸の入谷地区に続いて2箇所目です。元々は大きなデイサービスセンターが志津川にあったのですが、津波で流されてしまったため、カリタスジャパンに南三陸社協から「仮設住宅に住んでいる高齢者たちのために入谷と戸倉に再建したい！」という支援依頼がありました。米川ベースが2011年4月30日に開設してから南三陸に通い続けて聞こえてきた重要なニーズでした。南の戸倉から北の歌津まで往復一時間以上かかり、デイサービスの利用者も職員の方も大変でした。



落成式には町長や宮城県社協の会長も参列しており、町長は挨拶の中で「今年に復興住宅元年とし、住民の皆が安心して暮らせる日々を取り戻すために頑張っていきたい。」とおっしゃっていました。参列者は皆、デイサービスの完成を喜んでいました。

戸倉デイサービスセンターが建てられたこの地区は、戸倉地区波伝谷といって私たちが網切りに行っている小山漁業部のすぐ側でした。実はこの小山さんが土地提供者として協力しており、落成式にも参列していたので、お互いにまさかこんなところで会うとは思っていませんでした。

お茶っこで毎週通っている戸倉地区津の宮仮設のお婆さんたちも歌津まで通っているので、大分楽になるでしょう。何より被災した方たちが仕事に復帰でき、仮設に住んでいる高齢者の方たちのために働けるのでとても嬉しいです。慣れ親しんだ顔見知りの社協の方たちに正装で挨拶するのは不思議な感じがしました。私はいつも作業服で汚い格好をしているので「あれ？ほんとに千葉さん？」と冗談で茶化されたりして「仲間たちが復興して行くんだなあ。」と思い、心が温かくなりました。帰り際に「おめでとうございます。今後共よろしくお願ひします。」と挨拶をすると、社協の皆さんも「今後共よろしくお願ひします。」と笑顔で返事をしてくれました。今までの活動の中で出会った人々との繋がりがこの落成式で感じられ、人と人との縁を大切に生きて行きたいと思いました。



## 戸倉デイサービスセンター

利用定員 9名

規模・構造 鉄骨平屋、床面積 184㎡

\*室内は日当たりも良く、明るい雰囲気施設の完成しました。

# 3周年カレンダー 完成

仙台教区内で活動して下さっているカトリック系の各ボランティアベース、支援団体の皆様の活動を紹介するため、昨年までは被災地活動風景写真のポスターを作成しておりましたが、今回はそれに代えて「東日本大震災復興支援カレンダー」(2014年3月～2015年3月まで13ヶ月版)を作成いたしました。

このカレンダーは、震災の発生した3月11日を起点としたもので、被災地の活動風景を通して、まだ復興支援活動が続いていることを、日々心に留めていただければと作成したものです。

最近、他活動団体が撤退する動きもあり、ますます活動の継続が求められておりますが、一方でボランティア募集数は減少しています。

このカレンダーが被災者へ寄り添う復興活動の円滑な運営の一助となればと思っています。

カレンダーは、一部につき200円以上(送料込み)のご寄付で、ご注文を受け付けております。ご希望の方は、必要事項をご記入の上、FAXもしくはメールで仙台教区サポートセンターまでお申し込みください。よろしくお願ひ申し上げます。

(カレンダー発送時に振込用紙を同封致しますので、指定の振込用紙にてご寄付をお願いいたします。)

**カレンダーをお申し込みの際は、必要事項(1～4は必須)をご記入の上、FAXもしくはメールでお申してください。**

### 《必要事項》

1. カレンダー申し込み部数
2. 申込者氏名
3. 送り先住所
4. 連絡電話番号
5. 連絡事項

※カレンダーのご注文は何部でも結構ですが、カレンダーの性質上、出来るだけ早めにお申し込み下さいますようお願いいたします。

### カレンダーお申し込み先

#### ◆仙台教区サポートセンター

メールアドレス sendaidsc@gmail.com

FAX 番号 022-797-6648



カレンダー表紙(B5サイズ) ↑



←1ヶ月毎のカレンダー (B4サイズ)

